

## 第2回 芳賀・宇都宮地域交通対策協議会

### 議事概要

#### 1 日時

令和7(2025)年3月5日(水) 14:00~15:20

#### 2 場所

栃木県庁 本館6階 大会議室

#### 3 出席者

別紙「出席者名簿」のとおり

#### 4 議事

##### (1) 宇都宮東部地域の道路交通状況について

①宇都宮市東部地域の交通量の推移について (資料2)

②ETC2.0を活用した交通分析の紹介 (資料3)

③日変動を考慮した交通の把握について (資料4)

##### (2) 芳賀町における社会実験について

①今年度の調査結果について (資料5)

②次年度の実証実験計画について (資料6)

##### (3) 令和6年度収支決算及び令和7年度収支予算について (資料7)

#### 5 議事概要

- ・事務局(栃木県、宇都宮市、宇都宮国道事務所)宇都宮大学から宇都宮東部地域の道路交通状況について説明し、質疑応答及び意見交換を行った。
- ・事務局(栃木県、芳賀町)、本田技研工業株式会社から社会実験の内容について説明し、質疑応答及び意見交換を行った。
- ・事務局から令和6年度収支決算及び令和7年度収支予算について説明し、質疑応答及び意見交換を行った。

#### 6 主な質疑・意見

##### (1) 宇都宮東部地域の道路交通状況について

○(水関主任/福森委員代理)

- ・資料2「宇都宮市東部地域の交通量の推移について」では、LRTにより交通量が減

ったかどうかを確認したかったものなのか。

⇒（事務局）

- ・LRT が開業することによって、鬼怒通りに平行する東西幹線道路に交通が流れていくという仮説の下、どのように変わったかを検証したもの。
- ・渡河部の交通量は大きく変わっていないが、鬼怒通りは交通量が減り続けており、これがどこに流れているのかを詳しく解析していく。

○（笹木委員）

- ・資料4「日変動を考慮した交通の把握について」で、国道123号における西進が夕方に多いようだが、これはどこに向かっているものなのか。

⇒（長田会長）

- ・市内に向かっているものであり、鬼怒川の東側の工業団地等の従業員が、西側の市内の自宅に帰宅しているものと考えられる。

○（星野委員）

- ・資料4「日変動を考慮した交通の把握について」で、東進は開業当時から横ばいだが、西進が減少傾向なのは何故か。

⇒（長田会長）

- ・交通量が減ったというより、計測の弱点による誤差とも考えられる。今後さらに精査していきたい。

○（河西補佐/若林委員代理）

- ・県警では、車両感知器・光ビーコン等を使用し定点交通量を計測している。計測データについて、協議会から依頼があれば提供するなど協力できる。

○（長田会長）

栃木県と宇都宮市の取組では「点」での変化、国のETC2.0により「面」での変化について、宇都宮大学の研究では、「日別」の変化について分析していきいている。これらに、県警の定点のデータを組み合わせることで、継続的に、かつ面的に比較することができる。

今後、皆の協力を得ながら、変化状況について分析できればと考えている。

（2）芳賀町における社会実験について

○（水関主任/福森委員代理）

- ・実証実験の評価はどのように行うのか。

⇒ (事務局)

- ・実験参加者へのアンケート等で評価していく予定である。

○ (星野委員)

- ・LRT をより利用していただくという観点では、車で宇都宮に向かっている人を転換してもらうことも考えられるが、今後どのように展開していく予定か。

⇒ (事務局)

- ・交通結節点である芳賀 TC までの移動距離が短い場合は、移動支援モビリティなどの公共交通を、中長距離の場合は、危険予知機能を備えた CI を活用したカーシェアリングを提供し、端末交通を充実させることで LRT の利用を促進していきたい。

(3) 令和 6 年度収支決算及び令和 7 年度収支予算について  
質疑・意見なし

以上